（別紙３）

公表　令和７年度　事業所における自己評価総括表

○事業所名	グランディール　上松教室			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年2月23日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32名	（回答者数）	24名
○従業者評価実施期間	2026年2月17日	～	2026年2月23日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・部屋が多くあるため、利用者一人一人が行いたい活動内容によって、分けることができる。	・人数が多く部屋が狭い場合には、扉を開け、部屋を広くし療育している。 ・集中して行いたい活動（宿題や個別支援等）の場合には、部屋を仕切り、集中する空間を作ることができる。	・個別の部屋に誰でも自由に出入ることが可能なため、個別活動している利用者の集中力を切ってしまうことがある。利用者に周知すると共に、視覚的に使用していることがわかるようにし、共生・協力できるようにする。
2	・柔軟に活動を場所を変えることができる。	・施設の近くに多くの公共施設があるため、活動内容や利用者の心理状況に配慮し、活動場所を変更することができる。	・活動場所を変更すると、ルーティーンを崩してしまう事もあるため、事前告知やいつも通りのルーティーンを行ってから場所を変える等、柔軟に対応する必要がある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への情報共有やイベント運営に十分に取り組めていないことがある。	・情報が正社員で止まってしまっていることがある。 ・保護者向けイベントの運営に携わったことがある職員がいない。	・情報が正社員で止まってしまっていることがあり、送迎時保護者対応する非正規職員に情報が行かず、連絡が不十分になっている。支援前や情報共有資料などを活用し、全職員に情報を伝え、保護者への情報共有の強化を図る。